



2018年3月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

2018年1月31日

上場会社名 株式会社 小松製作所
 コード番号 6301 URL <https://home.komatsu.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長
 四半期報告書提出予定日 2018年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

上場取引所 東
 (氏名) 大橋 徹二
 (氏名) 本多 孝一
 TEL 03-5561-2616

(百万円未満四捨五入)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	1,805,801	47.2	188,189	75.8	215,340	108.5	155,064	126.9
2017年3月期第3四半期	1,226,707	△10.5	107,025	△30.8	103,263	△32.6	68,335	△34.1

(注) 四半期包括利益 2018年3月期第3四半期 180,657百万円 (96.2%) 2017年3月期第3四半期 92,061百万円 (22.5%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	164.41	164.19
2017年3月期第3四半期	72.48	72.39

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2018年3月期第3四半期	3,459,988	1,766,561	1,684,964	48.7	1,786.33
2017年3月期	2,656,482	1,648,515	1,576,674	59.4	1,672.01

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	29.00	—	29.00	58.00
2018年3月期	—	36.00	—	—	—
2018年3月期(予想)	—	—	—	36.00	72.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,328,000	29.1	216,000	24.1	237,000	42.4	159,000	40.2	168.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 4 社 (社名) 、 除外 0 社 (社名)

コマツマイニング(株)
 Joy Global Australia Holding Company Pty Ltd
 Joy Global Longview Operations LLC
 Joy Global Underground Mining LLC

(注) 詳細は添付資料5ページ「(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社(特定子会社)の異動」をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

(注) 詳細は添付資料5ページ「(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2018年3月期3Q	971,967,660 株	2017年3月期	971,967,660 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2018年3月期3Q	28,714,692 株	2017年3月期	28,984,435 株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2018年3月期3Q	943,135,301 株	2017年3月期3Q	942,756,875 株
------------	---------------	------------	---------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解ください。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）2018年3月期第3四半期（3カ月）の連結業績（2017年10月1日～2017年12月31日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3カ月）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	646,843	50.2	75,566	76.1	71,223	57.7	53,309	73.0
2017年3月期第3四半期	430,595	△ 9.9	42,899	△ 22.9	45,168	△ 18.3	30,817	△ 20.3

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	56.52	56.44
2017年3月期第3四半期	32.69	32.64

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 5
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 5
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 7
（1）四半期連結貸借対照表	P. 7
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 9
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
（4）継続企業の前提に関する注記	P. 12
（5）セグメント情報	P. 12
（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツは、2019年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「Together We Innovate GEMBA Worldwide –Growth Toward Our 100th Anniversary (2021) and Beyond–」を掲げ、①イノベーションによる成長戦略、②既存事業の成長戦略、③土台強化のための構造改革、を重点項目として活動しています。

2018年3月期第3四半期（2017年4月1日から2017年12月31日まで）の連結売上高は1兆8,058億円（前年同期比47.2%増）となりました。建設機械・車両部門では、中国やインドネシアをはじめ多くの地域で需要を着実に取り込んだことに加え、昨年4月に買収を完了した米国の大手鉱山機械メーカーであるジョイ・グローバル社（新社名「コマツマイニング（株）」）の新規連結の効果もあり、売上げは前年同期を大幅に上回りました。産業機械他部門では、ワイヤーソーの販売減少などがあったものの、自動車業界向けの工作機械の販売が増加したことなどから、売上げは前年同期並となりました。

利益につきましては、ジョイ・グローバル社の買収に係る一時費用が発生したものの、各地で売上げが増加したことにより、営業利益は1,881億円（前年同期比75.8%増）となりました。売上高営業利益率は前年同期を1.7ポイント上回る10.4%となりました。税引前四半期純利益は、投資有価証券の売却益もあり2,153億円（前年同期比108.5%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は1,550億円（前年同期比126.9%増）となりました。

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 106.5円 1ユーロ = 118.5円 1元 = 16.0円	当第3四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 111.7円 1ユーロ = 128.2円 1元 = 16.6円	増減率 % [(B-A)/A]
売上高	1,226,707	1,805,801	47.2
建設機械・車両	1,077,721	1,658,935	53.9
リテールファイナンス	36,124	45,992	27.3
産業機械他	121,249	121,491	0.2
消去	△ 8,387	△ 20,617	-
セグメント利益	107,837	200,861	86.3
建設機械・車両	96,546	183,952	90.5
リテールファイナンス	6,767	8,952	32.3
産業機械他	6,449	9,139	41.7
消去又は全社	△ 1,925	△ 1,182	-
営業利益	107,025	188,189	75.8
税引前四半期純利益	103,263	215,340	108.5
当社株主に帰属する四半期純利益	68,335	155,064	126.9

(注) 1. セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

2. 当第3四半期連結累計期間の数値には、昨年4月より新たに連結に加わったコマツマイニング（株）の業績を含みます。

部門別の概況は以下のとおりです。

【建設機械・車両】

建設機械・車両部門の売上高は1兆6,589億円（前年同期比53.9%増）、セグメント利益は1,839億円（前年同期比90.5%増）となりました。

オフロード法2014年基準（米国ではTier4Final）に適合する中型油圧ショベル「PC200-11」ならびに中型ICT油圧ショベル「PC200i-11」を発売しました。窒素酸化物等の排出を大幅に低減しながら生産性と燃費性能の両方で高いレベルを達成するなど、環境・安全・ICTに磨きをかけた最新機種を市場に導入し、販売拡大に努めています。

また、2015年2月にスタートした建設現場向けソリューション事業「スマートコンストラクション」を着実に推進し、これまでに4,400を超える現場に導入しました。同事業については、昨年12月、米国の大手半導体メーカーであるNVIDIA社と協業していくことを発表しました。同社が持つ画像処理やAIに関する高い技術を導入していくことで、建設現場の安全と生産性をさらに高め、「未来の現場」の実現を加速させていきます。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第3四半期 連結累計期間 [A]	当第3四半期 連結累計期間 [B] 合計	増 減		金 額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
			コマツインク* (株) 除く	コマツインク* (株)		
日本	216,511	235,278	235,257	21	18,767	8.7
北米	235,775	399,647	300,557	99,090	163,872	69.5
中南米	146,139	232,139	177,684	54,455	86,000	58.8
米州	381,914	631,786	478,241	153,545	249,872	65.4
欧州	91,594	124,431	113,270	11,161	32,837	35.9
CIS	48,515	79,522	75,810	3,712	31,007	63.9
欧州・CIS	140,109	203,953	189,080	14,873	63,844	45.6
中国	57,901	113,918	101,769	12,149	56,017	96.7
アジア(※)	131,098	210,061	207,149	2,912	78,963	60.2
オセアニア	74,092	136,696	105,974	30,722	62,604	84.5
アジア(※)・オセアニア	205,190	346,757	313,123	33,634	141,567	69.0
中近東	23,276	27,030	26,914	116	3,754	16.1
アフリカ	47,000	89,899	67,918	21,981	42,899	91.3
中近東・アフリカ	70,276	116,929	94,832	22,097	46,653	66.4
合計	1,071,901	1,648,621	1,412,302	236,319	576,720	53.8

(注) (※)「アジア」は日本および中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

レンタル業界向けを中心に、新排出ガス規制実施前の需要増により、売上げは前年同期を上回りました。

<米州>

米国およびカナダでは、インフラおよびエネルギー関連向けを中心に一般建機の需要が増加しました。また、中南米においては、アルゼンチンやメキシコを中心に一般建機の需要が増加しました。さらに、コマツマイニング（株）の新規連結の効果もあり、米州での売上げは前年同期を大幅に上回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、主要市場であるドイツや北欧を中心に需要が堅調であり、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

CISでは、石炭や金鉱山を中心に鉱山向け需要が引き続き好調であり、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

<中国>

全国的にインフラ工事が進行し、一般建機の需要が引き続き伸長したことから、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、石炭価格の上昇に伴い、最大市場であるインドネシアで鉱山機械の需要が増加したことなどから、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

オセアニアでは、鉱山機械の需要が増加したことなどに加え、コマツマイニング（株）の新規連結の効果もあり、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、原油安を受けた各国政府の緊縮財政の影響はあったものの、一部地域での需要が回復傾向にあることなどにより、売上げは前年同期を上回りました。

アフリカでは、南アフリカでの鉱山向け需要が増加したことなどに加え、コマツマイニング（株）の新規連結の効果もあり、売上げは前年同期を大幅に上回りました。

【リテールファイナンス】

リテールファイナンス部門では、チリでの売上げの増加や北米での資産の増加などに伴い、売上高は459億円（前年同期比27.3%増）となりました。セグメント利益は、中国での引当金計上の影響がなくなったことなどに伴い、89億円（前年同期比32.3%増）となりました。

【産業機械他】

産業機械他部門では、ワイヤーソーの販売減少などがあったものの、自動車業界向けの工作機械の販売が増加したことなどにより、売上高は1,214億円（前年同期比0.2%増）となりました。セグメント利益は91億円（前年同期比41.7%増）となりました。

コマツ産機（株）では、2010年より業界に先駆けて市場に導入した3次元ファイバーレーザー加工機をフルモデルチェンジし、「TLH510-2」、「TLH408-2」の2機種を昨年12月に発売しました。機械稼働管理システム「KOMTRAX」を標準搭載するなど、同社が培ってきた技術・ノウハウと先進のICT技術を投入した最新機種により、お客様の品質・生産性向上に貢献していきます。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

＜財政状態＞

当第3四半期連結会計期間末は、コマツマイニング（株）の新規連結などにより、総資産は前期末に比べ8,035億円増の3兆4,599億円となりました。有利子負債残高は、ジョイ・グローバル社の買収資金調達などにより、前期末に比べ4,760億円増の8,847億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ1,082億円増の1兆6,849億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ10.7ポイント減の48.7%となりました。

＜キャッシュ・フロー＞

当第3四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益等による収入の増加があったものの、売上高の増加に伴い運転資本が増加したため、前年同期比で649億円減少し、816億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、売却可能投資有価証券等の売却があったものの、ジョイ・グローバル社の買収などにより、3,202億円の支出（前年同期比2,260億円の支出増）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、上記の買収資金の調達などにより、2,817億円の収入（前年同期は216億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ454億円増加し、1,653億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

昨年10月27日に公表しました2018年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動

コマツマイニング（株）ならびにその子会社であるJoy Global Australia Holding Company Pty Ltd、Joy Global Longview Operations LLC および Joy Global Underground Mining LLC は、買収により、当社の特定子会社に該当することとなりました。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更

当第1四半期連結会計期間より、会計基準アップデート2015-17「繰延税金の貸借対照表上の分類」を適用し、繰延税金資産および繰延税金負債を、貸借対照表上で、非流動項目として表示しています。当社は、過年度の期間については遡及修正しておりません。前連結会計年度末における流動区分の繰延税金資産および負債は、それぞれ56,276百万円、421百万円でした。

当第3四半期連結会計期間より、米国証券取引委員会スタッフ会計公報118「米国新税制改正法（Tax Cuts and Jobs Act）の会計処理への影響」（以下、SAB 118）を適用しています。SAB 118は、2017年12月22日に成立した米国新税制改正法の財務諸表への影響について、測定期間中においては合理的な見積りに基づいた暫定金額で会計処理することを認めています。当社は、米国新税制改正法による

財務諸表への影響について、現時点で入手し得る情報に基づいた暫定金額を連結財務諸表に織り込んでいます。

②①以外の会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

（1）四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2017年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2017年12月31日)	
	金額（百万円）	構成比 （%）	金額（百万円）	構成比 （%）
（資産の部）				
流動資産				
現金及び現金同等物	119,901		165,304	
定期預金	2,289		2,493	
受取手形及び売掛金	619,265		765,589	
たな卸資産	533,897		757,480	
繰延税金及びその他の流動資産	144,169		122,316	
流動資産合計	1,419,521	53.4	1,813,182	52.4
長期売上債権	313,946	11.8	373,437	10.8
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	30,330		31,930	
投資有価証券	67,716		12,238	
その他	2,424		2,779	
投資合計	100,470	3.8	46,947	1.3
有形固定資産	679,027	25.6	767,837	22.2
営業権	40,072	1.5	175,863	5.1
その他の無形固定資産	61,083	2.3	183,118	5.3
繰延税金及びその他の資産	42,363	1.6	99,604	2.9
資産合計	2,656,482	100.0	3,459,988	100.0

区分	前連結会計年度末 (2017年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2017年12月31日)	
	金額（百万円）	構成比 (%)	金額（百万円）	構成比 (%)
（負債の部）				
流動負債				
短期債務	128,452		307,933	
長期債務	89,391		48,971	
－1年以内期限到来分				
支払手形及び買掛金	240,113		303,319	
未払法人税等	25,136		46,159	
繰延税金及びその他の流動負債	217,090		300,216	
流動負債合計	700,182	26.3	1,006,598	29.1
固定負債				
長期債務	190,859		527,821	
退職給付債務	65,247		85,881	
繰延税金及びその他の負債	51,679		73,127	
固定負債合計	307,785	11.6	686,829	19.8
負債合計	1,007,967	37.9	1,693,427	48.9
（純資産の部）				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	138,285		138,546	
利益剰余金				
利益準備金	45,368		45,828	
その他の剰余金	1,357,350		1,450,619	
その他の包括利益（△損失）累計額	18,682		32,608	
自己株式	△ 50,881		△ 50,507	
株主資本合計	1,576,674	59.4	1,684,964	48.7
非支配持分	71,841	2.7	81,597	2.4
純資産合計	1,648,515	62.1	1,766,561	51.1
負債及び純資産合計	2,656,482	100.0	3,459,988	100.0

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（第3四半期連結累計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	1,226,707	100.0	1,805,801	100.0
売上原価	875,614	71.4	1,283,075	71.1
販売費及び一般管理費	243,256	19.8	321,865	17.8
その他の営業収益（△費用）	△ 812	△ 0.1	△ 12,672	△ 0.7
営業利益	107,025	8.7	188,189	10.4
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	2,602	0.2	4,059	0.2
支払利息	△ 5,692	△ 0.5	△ 13,427	△ 0.7
投資有価証券売却損益（純額）	196	0.0	48,287	2.7
その他（純額）	△ 868	△ 0.1	△ 11,768	△ 0.7
合計	△ 3,762	△ 0.3	27,151	1.5
税引前四半期純利益	103,263	8.4	215,340	11.9
法人税等	35,189	2.9	53,959	3.0
持分法投資損益調整前四半期純利益	68,074	5.5	161,381	8.9
持分法投資損益	2,845	0.2	2,851	0.2
四半期純利益	70,919	5.8	164,232	9.1
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	2,584	0.2	9,168	0.5
当社株主に帰属する四半期純利益	68,335	5.6	155,064	8.6
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	72.48 円		164.41 円	
希薄化後	72.39 円		164.19 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年12月31日	当第3四半期連結累計期間 自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	70,919	164,232
その他の包括利益（△損失）—税控除後		
外貨換算調整勘定	11,773	41,971
未実現有価証券評価損益	9,624	△ 28,554
年金債務調整勘定	1,700	1,648
未実現デリバティブ評価損益	△ 1,955	1,360
合計	21,142	16,425
四半期包括利益（△損失）	92,061	180,657
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	2,979	11,667
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	89,082	168,990

（第3四半期連結会計期間）

四半期連結損益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2016年10月 1日 至 2016年12月31日		当第3四半期連結会計期間 自 2017年10月 1日 至 2017年12月31日	
	金額（百万円）	百分比 （%）	金額（百万円）	百分比 （%）
売上高	430,595	100.0	646,843	100.0
売上原価	306,066	71.1	450,431	69.6
販売費及び一般管理費	80,928	18.8	109,271	16.9
その他の営業収益（△費用）	△ 702	△ 0.2	△ 11,575	△ 1.8
営業利益	42,899	10.0	75,566	11.7
その他の収益（△費用）				
受取利息及び配当金	999	0.2	1,107	0.2
支払利息	△ 1,843	△ 0.4	△ 5,190	△ 0.8
投資有価証券売却損益（純額）	—	—	8,724	1.3
その他（純額）	3,113	0.7	△ 8,984	△ 1.4
合計	2,269	0.5	△ 4,343	△ 0.7
税引前四半期純利益	45,168	10.5	71,223	11.0
法人税等	14,030	3.3	15,709	2.4
持分法投資損益調整前四半期純利益	31,138	7.2	55,514	8.6
持分法投資損益	1,033	0.2	1,102	0.2
四半期純利益	32,171	7.5	56,616	8.8
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	1,354	0.3	3,307	0.5
当社株主に帰属する四半期純利益	30,817	7.2	53,309	8.2
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	32.69 円		56.52 円	
希薄化後	32.64 円		56.44 円	

四半期連結包括利益計算書

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2016年10月 1日 至 2016年12月31日	当第3四半期連結会計期間 自 2017年10月 1日 至 2017年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
四半期純利益	32,171	56,616
その他の包括利益（△損失）—税控除後		
外貨換算調整勘定	121,995	11,301
未実現有価証券評価損益	8,509	△ 4,951
年金債務調整勘定	520	800
未実現デリバティブ評価損益	△ 2,250	78
合計	128,774	7,228
四半期包括利益（△損失）	160,945	63,844
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益（△損失）	9,181	4,015
当社株主に帰属する四半期包括利益（△損失）	151,764	59,829

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第3四半期 連結累計期間 自 2016年 4月 1日 至 2016年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日
	金額（百万円）	金額（百万円）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	70,919	164,232
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）への調整		
減価償却費等	77,367	98,857
法人税等繰延分	5,855	△ 23
投資有価証券売却損益及び減損	△ 173	△ 48,146
有形固定資産売却損益	△ 592	△ 376
固定資産廃却損	1,504	1,858
未払退職金及び退職給付債務の増減	2,131	△ 2,779
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	8,434	△ 115,732
たな卸資産の増減	△ 39,237	△ 86,229
支払手形及び買掛金の増減	7,319	22,259
未払法人税等の増減	△ 19,495	20,013
その他（純額）	32,559	27,690
営業活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	146,591	81,624
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 107,997	△ 122,996
固定資産の売却	13,926	16,256
売却可能投資有価証券等の売却	602	60,823
売却可能投資有価証券等の購入	△ 107	△ 589
子会社及び持分法適用会社株式等の売却（現金流出額との純額）	5,485	570
子会社及び持分法適用会社株式等の取得（現金取得額との純額）	△ 5,905	△ 273,534
貸付金の回収	9	136
貸付金の貸付	△ 64	△ 775
定期預金の増減（純額）	△ 62	△ 100
投資活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 94,113	△ 320,209
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	109,443	423,248
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△ 112,344	△ 175,336
満期日が3カ月以内の借入債務の増減（純額）	38,299	101,830
キャピタルリース債務の減少	△ 42	△ 36
自己株式の売却及び取得（純額）	35	62
配当金支払	△ 54,711	△ 61,335
その他（純額）	△ 2,326	△ 6,711
財務活動による現金及び現金同等物の増減（純額）	△ 21,646	281,722
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 3,023	2,266
現金及び現金同等物純増減額	27,809	45,403
現金及び現金同等物期首残高	106,259	119,901
現金及び現金同等物四半期末残高	134,068	165,304

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,071,901	34,318	120,488	1,226,707	—	1,226,707
(2) セグメント間の内部売上高	5,820	1,806	761	8,387	△ 8,387	—
計	1,077,721	36,124	121,249	1,235,094	△ 8,387	1,226,707
セグメント利益	96,546	6,767	6,449	109,762	△ 1,925	107,837

当第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,648,621	36,780	120,400	1,805,801	—	1,805,801
(2) セグメント間の内部売上高	10,314	9,212	1,091	20,617	△ 20,617	—
計	1,658,935	45,992	121,491	1,826,418	△ 20,617	1,805,801
セグメント利益	183,952	8,952	9,139	202,043	△ 1,182	200,861

前第3四半期連結会計期間（自 2016年10月1日 至 2016年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	376,613	12,027	41,955	430,595	—	430,595
(2) セグメント間の内部売上高	2,465	627	267	3,359	△ 3,359	—
計	379,078	12,654	42,222	433,954	△ 3,359	430,595
セグメント利益	38,928	2,551	2,391	43,870	△ 269	43,601

当第3四半期連結会計期間（自 2017年10月1日 至 2017年12月31日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	591,797	13,099	41,947	646,843	—	646,843
(2) セグメント間の内部売上高	2,719	1,651	359	4,729	△ 4,729	—
計	594,516	14,750	42,306	651,572	△ 4,729	646,843
セグメント利益	80,196	3,043	4,302	87,541	△ 400	87,141

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. リテールファイナンスセグメント

販売金融

c. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2016年4月1日 至 2016年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自 2017年4月1日 至 2017年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結累計期間	273,720	421,341	151,456	78,496	231,349	70,345	1,226,707
当第3四半期連結累計期間	284,255	683,169	214,146	132,864	374,099	117,268	1,805,801

前第3四半期連結会計期間（自 2016年10月1日 至 2016年12月31日）及び当第3四半期連結会計期間（自 2017年10月1日 至 2017年12月31日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第3四半期連結会計期間	100,670	144,757	49,990	27,091	84,563	23,524	430,595
当第3四半期連結会計期間	94,467	251,039	69,577	53,626	137,465	40,669	646,843

（注）※ 日本および中国を除きます。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。